



計画訪問・授業参観・社会科見学・・・

11月に入り、県教委・市教委の先生方の訪問や6年の中学校体験授業、授業参観、1・2年の生活科校外学習や3・4年の社会科見学等の諸行事がありました。新型コロナウイルスの感染拡大による影響を受け、実施方法や内容等の変更を余儀なくされたものがあるものの、子どもたちは、それぞれの学習に楽しく、意欲的に取り組みました。本校は、校内研究として、複式算数科の授業づくりについて、授業実践を通して取り組んでいます。研究発表会を次年度に控え、先日、県教委・市教委の先生方が、本校を訪問され、先生方の授業を見ていただきました。先生方のどういう指導や手立てによって、子どもたちが、進んで学習に取り組み、自信をもって自分の考えを発表することができるようになるかなど、指導していただきました。先生方全員で共通理解を図りながら研究を進めていますが、学校教育目標の「自分大すぎ 友だち大すぎ 学校大すぎ」の実現に向け、授業の中で「できた」・「わかった」を味わわせ、達成感や成就感を得ることで自己肯定感を高め、自信をもって課題に取り組む子どもたちを育てていきたいと思っております。

○授業参観・懇談会ありがとうございました！

先週の19日は、授業参観・懇談会でした。ご多用な中、保護者の皆様にはご参加いただき、ありがとうございました。

本校の校内研究の取組の1つに、「全体での発表の場で、自信をもって自分の考えや意見を発表することができること」を挙げています。合わせて、子どもたちの「反応する力」も育てていくことにしています。

3・4年の授業参観では、国語の単元「想そをを広げて物語を書こう」(3年)、単元「くらしの中の『和』と『洋』について調べよう」(4年)において、3年の子どもたちは、3枚の絵の情報をもとに、1つの場面を自分なりに想像を広げて、書いたお話を発表したり、4年の子どもたちは、「和」と「洋」について、自分で課題を決め、学習したことをもとに調べ、紹介文にまとめて発表したりしました。5・6年では、外国語の単元「行ってみたい国や地域とその理由を伝え合おう」において、ペアで元気づくコミュニケーションをする姿が見られました。一人一人が、全体の場で、しっかり発表し、聞き手の方も友だちの発表を聞いて、気づきや感想を述べている場面も多くなりました。この「反応する力」は、問いかけられたら応えたり、うなずいたりするなど、発表(発言)をよく聞き、受け止めることで、このことは学級一人一人の存在を認め、それぞれの居場所を作ることに繋がります。授業の中だけに限らず、集会等でも大事にしたい力として身に付けさせています。



○全校朝会において

先日の全校朝会で、新幹線開業PRのロゴマークが決定したことや、大村の歴史に興味をもってほしいということで、子どもたちに『大村城(別名：玖島城)』について話しました。本校の図書室に「日本100名城のひみつ(萩原さちこ著)」という本があり、城の歴史、城の特徴、そして日本の100名城が紹介されています。この本の中で、城の特徴として、城にはいろいろな建造物(櫓、石垣、橋、丸など)や、敵の攻撃を防ぐしくみ(堀、虎口・門、狭間など)があることが書かれていました。



そこで、「板敷櫓」の写真を見せ、現在は大村公園になってい、所々今から420年ほど前に大村城がつかられたことや、大村城にも、本に書かれているような「城の特徴」があることを紹介しました。また、城づくりの名人として熊本城を築いた加藤清正が考案した「扇の勾配」と言われる石垣が清正の指導として、後の大村城の改修工事で築かれたことも話しました。大村城を知ること、城や大村の歴史に興味をもち、郷土に対する愛着をもってほしいと思っています。



おめでとう！

<大村市読書感想文コンクール>

入選	2年	江崎	小陽
入選	5年	奥田	颯太
入選	6年	今里	爽太
入選	6年	奥田	佑都
入選	6年	長谷川	苺香

<大村市読書感想画コンクール>

特選	1年	大坪	暖絆
特選	1年	松谷	悠一郎
特選	4年	大石	爽太
入選	2年	江崎	小陽
入選	2年	大石	天馬
入選	3年	大石	泰地
入選	3年	北島	小暖
入選	4年	大坪	桃



7日(月)	人権集会
9日(水)	校内持久走大会
14日(月)	クラブ活動
15日(火)	市学力調査
24日(木)	2学期終業式(給食なし)